



私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

事業方針:丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

特許「dsp・HVシステム」脱臭装置の開発で、汚泥減容の副次効果を発見……。 dsp排水処理槽メンテ技術の向上、快適環境づくりに貢献しています！！

ディスポーザー排水処理槽のメンテナンスは、①処理槽内を開けての点検で臭気が体につく。②手作業での汚泥返送など作業が汚い。③点検に際して開閉する開口蓋が重く、高所作業で危険を伴う。文字通り3Kの職場に分類されます。

持続可能なメンテナンスを目指すならば、①処理槽内の臭気を消さないか？②処理槽の汚泥引抜きをカットできないか？③処理槽室内の環境を快適にできないか？④ランニングコストを圧縮できないか？など、など……。

メンテ事業の発足に際し、県外の水処理会社友人より、高濃度酸素を利用した優れたシステムと出会った。是非とも見学に来ないかのお誘いを受けました。数日後に見学をさせて頂きました。「正に百聞は一見に如かず」その後5回の見学となりましたが、システム導入費用は高く、ディスポーザー処理槽には向かないと判断しました。悶々とするうちに「自社開発」の意欲にかられ、半年で「試作品」が仕上がりました。その後、実証テストと改良を繰り返し想定レベルの製品の誕生まで辿りつきました。

- 実証第1号は、JRと私鉄駅複合ビル中水施設の汚泥減容の依頼でした。



酸素製造器



酸素溶解装置

汚泥減容の100%自信はありませんでしたが、毎週の引き抜き汚泥7m³は、丁度1週間ゼロになりました。併せて、地下2階の処理槽室に蔓延の臭気が消えました。

しかし、事はうまく進まないものです。3ヶ月間、汚泥の引き抜きは無くなりました。その結果、汚泥引き抜き業者とのトラブルで当該装置の撤去となり、汚泥引き抜きは従来通り実施となりました。それでも私達は、臭気低減と汚泥減容実証の大きな成果を得ることができました。

- 実証1号の成果以来、dsp処理槽で実証テストを繰り返し確認を掴みました。

そんな時に、dsp処理槽上部の立体駐車場が悪臭で困っている課題を頂戴しました。早速、現地調査し提案書を提出させて頂きました。ところが管理組合の理事様から、Pa社が解決できないものを、弊社ができるはずがないとの烙印を押されました。管理会社様の判断でPa社に1年間の猶予期間が与えられました。さて1年後、事態は好転とならず弊社の出番となりました。

高濃度酸素利用システム「dsp・HVシステム」を付加設置し、1ヶ月で臭気は全く検知できない数値となりました。管理会社様はもとより、近隣住民から大変喜ばれました。そして本件は、委託契約締結となり一層の自信を深めました。

- こんな事案もありました。エントランスホールに臭気が漂います。どうもdsp処理槽ではないかと……。点検要請を快諾しました。

「dsp・HVシステム」の設置となりました。数日で、エントランスホールの臭気は払拭できました。併せて、処理槽室内からは臭気と害虫の飛来が消えました。当該処理槽は嫌気分解槽を抱えていますが、これで汚泥の引き抜きもゼロとなりました。



1年後、処理槽室にトランクルームができました！

水物語 No114 「お祭り」は、もともと収穫感謝の秋でした…！



お祭りは、お神輿の宮出しで始まり、町内を渡御・巡行し宮入で終わります。物見遊山の見物客もお祭りの参加者です。



日本は、昔から「八百万の神」という信仰があります。私たちの身の回りの至るところに、神様がいて考えられてきました。農作物の収穫も、田や畑を守る神様のおかげだとみなし、収穫を感謝する、その感謝の気持ちを込めて、神様に捧げものをしたり祝宴をひらいたりしたのが「秋祭り」の元々の由来です。

よって、神社では秋になると「例祭」を行うことが非常に多いです。「例祭」とは、その神社にとって最も大切なお祭りです。

「お祭りをするなら秋がいい！」のはずですが……。昨今は夏祭りも多いです。参加者は基より、ご神体の熱中症が心配です。なお、お祭りには組織をまとめる不思議な神業が宿っています。

特許 油脂ゼロポンプ槽推進中！
特許 dsp・ハイブリッドシステム推進中！ 株式会社クリーンテックサービス東京